

## 雄阿寒岳の火山活動解説資料（令和6年7月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図2）

11日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。北側斜面の地熱域には噴気は認められませんでした。また、地形や植生なども前回の観測（2021年7月）と比べて特段の変化はありませんでした。



図 1 雄阿寒岳 周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影方向（矢印）  
赤丸は北側斜面にみられる地熱域の位置を大まかに示しています。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

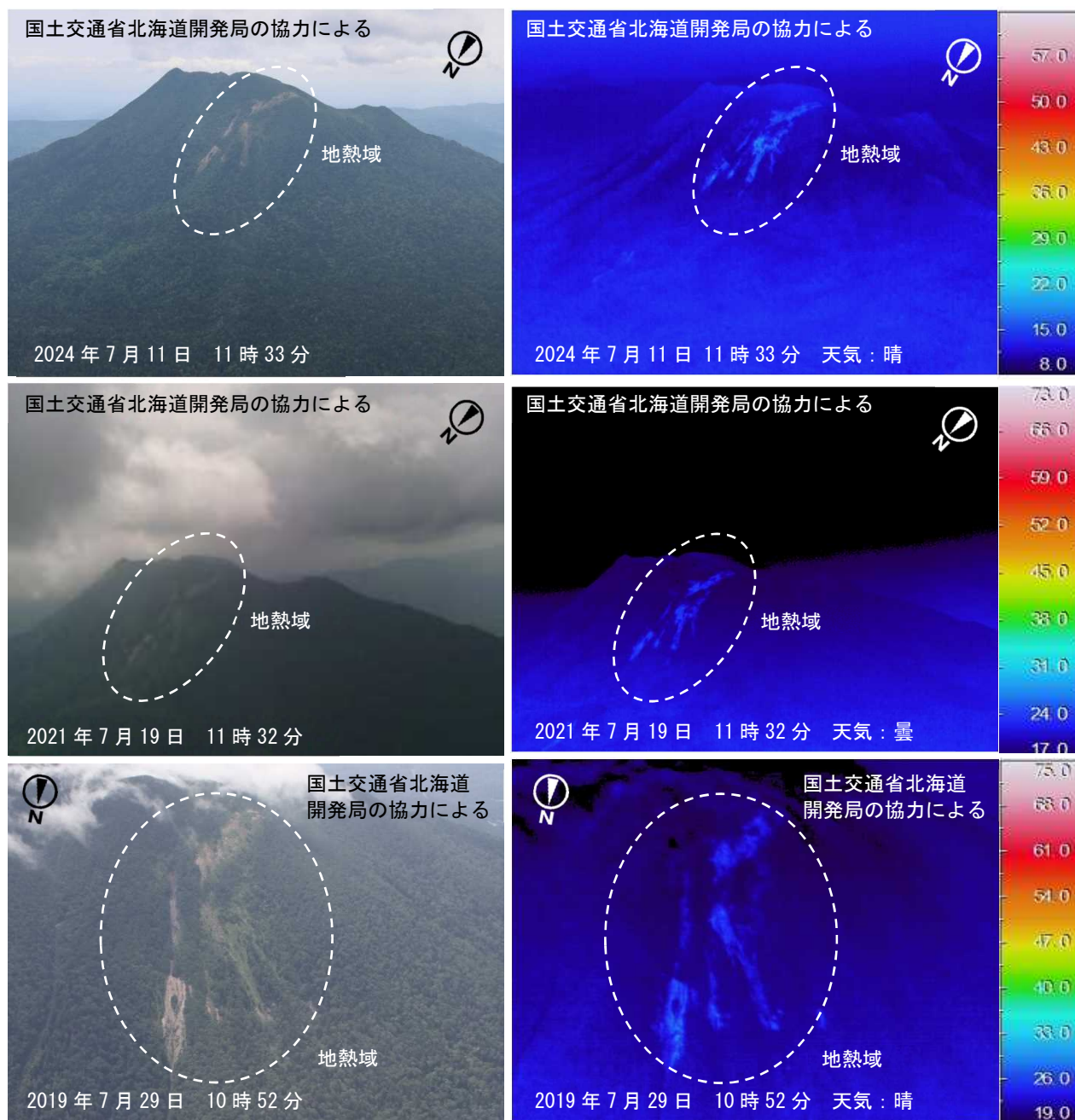


図2 雄阿寒岳 赤外熱映像装置による北側斜面の地表面温度分布

上段：北西側上空（図1の①）から撮影

中段：北西側上空（図1の①）から撮影

下段：北側上空（図1の②）から撮影

- ・北側斜面にみられる地熱域（点線で囲んだ領域）には、日射による影響を超えるような高温域は認められず、過去の観測（2021年7月及び2019年7月）と比べて特段の変化は認められませんでした。